



5月のえんだより

令和5年5月1日
東部保育園



5月の行事予定

「やねよ～りた～か～いこいのぼり～♪」と保育室や園庭から可愛い声が聞こえてきます。先週から園庭にこいのぼりがあがり、子どもたちは嬉しそうに見上げています。

入園、進級から1ヶ月たち、子どもたちは新しい環境にも少しずつ慣れ、室内や園庭から元気な声が聞こえてくるようになりました。新入児さんも、クラス的环境やお友だちにも興味を持ち始め、可愛い笑顔をたくさん見せてくれるようになりましたよ。先日、S君が降園時に「先生、今日はお昼寝の時とんとんしてくれてありがとう」と声を掛けてくれました。私も慌てて「とんとんさせてくれてありがとう」とお礼を言いました。S君に「ありがとう」のことばの温かさと、感謝の気持ちを伝えることの大切さを教えてもらった素敵な瞬間でした。5月5日は子どもの日です。忙しい毎日ですが、お子さんの話にじっくり耳を傾け、「〇〇ちゃんのことが大好きだよ」「うまれてきてくれてありがとう」の気持ちをしっかり子どもさんに届けてあげて下さいね。

今月もたくさんの楽しい行事を計画していますが、連休もあり、また緊張もほぐれて疲れも出やすい時期です。胃腸炎等も流行しているようですので、体調には十分気を付け、規則正しい生活を心がけていきましょう。



5月のやくそく

- ・気持ちのよいあいさつをしましょう
- ・交通ルールを守りましょう
- ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしましょう

5月のうた

- ・こいのぼり・おつかいありさん・おかあさん
- ・めだかのがっこう・おひさまになりたい

4月21日（金）の保護者会総会には、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。令和5年度の保護者会費、予算等についてご承認いただきましたので、新役員さんとともに今後の行事などを計画させていただきます。

役員の皆様はじめ、保護者の皆様にも、清掃奉仕や行事へのご参加などご協力いただきますよう、今年も一年間どうぞよろしく願いいたします。



*4月25日（火）に
斐川交番さんによる
「交通安全防犯教室」がありました。3名のおまわりさんに来ていただき、交通安全、防犯についてのお話を聞いたり、横断歩道の正しい渡り方を教えていただきました。



*4月27日（木）に「子どもの日の集い」がありました。民生児童委員さんが来てくださり、一緒に紙飛行機作りを楽しみました。子どもたちは何度も飛ばして楽しんでいましたよ。



1	月	みんなの会・・・月々の約束をわかりやすく伝えみんなで今月のうたを歌います
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
9	火	体操教室(ひまわり・あじさい) 絵本貸し出し開始・・・毎週火曜日に保育園の絵本を借りて帰ります
10	水	ばけつ稲種まき・・・JAさんのご協力でひまわり組がチャレンジします 集金日 新任職員研修(山崎)・年中児発達事業説明会(団野)
12	金	よもぎだんご作り(ひまわり・あじさい) 布団持ち帰り
15	月	リサイクル回収(~17日)
17	水	パン作り(~18日 ひまわり)
18	木	身体測定
19	金	誕生会・・・5月うまれのお友だちお誕生日おめでとう! 東中運営理事会(園長) 特別支援教育コーディネーター説明会(長島)
21	日	いちごの会
22	月	コミセンさつま芋の苗植え(ひまわり・あじさい)
23	火	英語で遊ぼう(ひまわり)
24	水	手作り弁当の日
25	木	人参収穫体験(ひまわり)
26	金	布団持ち帰り
27	土	親子活動(たんぼぼ・すみれ・ちゅうりっぷ・なのはな) (詳しくは別紙おたよりをご覧ください)
29	月	出雲保協総会(園長・長島・須田)
30	火	ばけつ稲田植え(ひまわり)



- 27日（土）・・・たんぼぼ・すみれ・ちゅうりっぷ・なのはな組親子活動
詳しくは別紙おたよりをご覧ください。ご参加お待ちしております。
- ☆ これから、JAさんのご指導による、年長児の「バケツ稲作り」や、コミセンさんとのさつまいもの苗植えなどがあります。年間を通して、今後も地域の方との活動を計画しています。
- ☆ 「個人懇談」には、お忙しい中、ご都合をつけてご参加いただきありがとうございます。ご家庭と園とが連絡を取り合い、一緒に協力しながら子どもさんの健やかな育ちを支えていきましょう。これからの方もよろしく願いします。
- ◇ 保育園では、子どもたちの言葉の使い方に耳を傾け、子どもの気持ちを受け入れながら丁寧に対応しています。裏面に、ほけんニュース「幼児期から育みたい言葉の使い方」を載せていますので、参考にしてみてください。ご家族で、またお子さんと一緒に、「言葉の使い方」について話をしてみてくださいね。
ご家庭と園と一緒に、子どもたちの思いやりの心を育てていきましょう。



ほけんニュース

幼少期から育みたい言葉の使い方

幼児期は言葉で自分の気持ちを表現したり、人と言葉を伝え合ったりするなど、さまざまな体験を通して、言葉を豊かにする時期です。いろいろな言葉で、たくさん話しかけてください。

人とのかかわりの中で身につく言葉



子どもはおとなの言葉をまねしたり、遊びの中に取り込んだりして、言葉を使うようになります。言葉のやりとりを重ねることで、子どもたちは自分の気持ちを伝えようとします。そして、相手が言葉で答えることを通して、言葉の使い方を身につけていきます。子どもの言葉に耳を傾けて、言葉を返すことが大切です。

どんな ときに つかう ことば? 
 知らない ことばは あるのかな?

おはよう

あさの あいさつ

ありがとう

おれいの ことば

やめて

いやな ことを された とき

いただきます

たべる まへの あいさつ

だいじょうぶ?

おともだちが ころんだ とき

おやすみなさい

ねる まへの あいさつ

ごめんね

あやまる とき

いっしょに あそぼう

おともだちと あそびたい とき

「いいよ」も「いや」も子どもの大切な気持ち

幼児期の子どもが、おもちゃを貸してといわれて「いや」と断ることがあります。子どもは、いつも遊んでいるおもちゃを自分のものと感じるので、これは当たり前のことです。無理に「いいよっていおうね」などというと、子どもは気持ちを認めてもらえなかったと感じることがあります。

まずは「まだ使っているんだね」などと受け入れる言葉をかけ、その後「仲よく遊ぶにはどうしたらいい?」と話してみましょう。

子どもは気持ちを受け入れてもらう経験を通じて、自分と他者の気持ちの違いに気づき、少しずつ歩み寄れるようになります。



子どもに寄り添い、気持ちを動かす言葉かけ

転んで痛いと泣いている時



痛くない痛くない!

痛いの! 悲しい



床にごみをばい捨てした時



どこに捨てたの!?

床に捨てたんだよ



受け入れる言葉に



痛かったね。大丈夫?

うん……



具体的に指示する言葉に



ごみはごみ箱に捨ててね

うん! ごみ箱に捨てる



痛かったのに否定されたと思う子もいます。受け入れる言葉をかけてみてください。

疑問形で叱ると伝わらないことも。してほしいことを指示してみてください。